

**実施日・場所 変更！！**

平成26年7月8日 掲示

## 平成26年度 第11回 数理分子生命理学セミナー

日時：平成26年7月17日(木) 14:35～

場所：理学部 E209 講義室

講師：亀井保博 先生（基生研・生物機能解析センター）

演題：生物学顕微鏡のサキドリ技術開発

要旨：生物学顕微鏡は、レーザー、蛍光タンパク質など様々な技術開発により、「ライブイメージング」の分野が発展し、生体内の現象をリアルタイムで「観察」できるようになってきた。一方で、「操作」する技術としても顕微鏡は利用され始めている。神経細胞の活動を制御するオプトジェネティクスが代表であろう。演者は生体内の局所で遺伝子発現を誘導する方法 (IR-LEGO) を開発し応用しているのでこれを紹介する。しかし、対物レンズと接眼(結像)レンズの組み合わせで、試料表面(あるいは表面近傍)を見るための基本コンセプトは350年前から変わっていない。近年の生物学者が求める生きた個体の内部を見る場合には、試料内部にある屈折率の異なる成分由来の光の擾乱が問題になる。それを天体望遠鏡分野で培われた「補償光学」により解決する方法を模索中なのでこちらも紹介する。

問合せ先：理学研究科・数理分子生命理学・島田裕士(7450)

数理分子生命理学セミナー世話人 片柳克夫 (内線7388)

今回のセミナーは(5研究科)共同セミナーとして認定可能です